

時報

少女の談話會

◎私等の談話會は（十月十七日）に第三回例會を旭が岡公園に開きました。午后一時に開會致し今日は會長貞子様に代りて私が開會の言葉それから勇婦つや子の事、薄命の少女の話しから會に對する望みを述べまして次に貞子様の吉村れつ子の傳、月とたぬきのお話し、其の外會員の君達の面白いお話しがありました。茶話になりました。餘興は裁判遊び面白く次の山川遊びも皆様に少なからぬ満足と與へられました。短き秋の日足はいつまでも私等にかゝる快樂を與へておきませんから惜しき閉會を致しました。三時半でありました。會員は一人多くなりました。優しい可愛方それから此度武藤たみ子上妻なる子の方々を幹事に選びました。今日の開會場は天然の風景に富んで居る處なのです。遠く那須山をはじめ諸々の山は思ひ／＼の絶景を競ふ如く近くは木々の紅葉して蜀錦をさらせる如く。將た運動場に遊ぶ學生のフットボールなどみな當日の好餘興でありました。いつも乍らの拙ない報告御免遊ばせ（岩代須賀川根本松江報）

底本…「少女界」明治三十七年第十一號

入力…小林 徹

公開…令和六年七月十六日

リンク…[作品年譜](#)